

日野原賞一次審査基準

2022年11月11日作成

【評価項目】

1. 研究目的は、プライマリ・ケアの視点から、意義深く、切実か？

研究目的やリサーチ・クエスチョンが、プライマリ・ケアの理念や目標と合致しているか、診療現場に切実な問題を取り扱っているか。

「2点」：プライマリ・ケアの視点から、意義が高く、切実な問題を扱っている。

「1点」：「2点」と「0点」以外の場合。

「0点」：プライマリ・ケアにとって重要ではない。

2. 研究目的と研究方法に乖離はないか？

研究を行うことで目的が達成され得る手法を用いているか。

「2点」：研究の目的を達成するために適切な研究方法である。

「1点」：「2点」と「0点」以外の場合。

「0点」：目的と方法に大きな乖離がある、もしくは目的、方法の説明がない。

3. 研究デザインとデータ収集方法は適切か？

（量的研究）対象患者、要因/介入、比較対象、アウトカムのうち、必要な項目が明確に定義され、データ収集が適切に行われているか。

（質的研究）研究で取り扱う事象に関する着眼点・認識論・理論が一貫し、研究目的に合致した妥当な方法（インタビュー、エスノグラフィーなど）が選択されたうえで、結論を導くために必要なデータを収集できているか。

（混合研究）研究目的に合致した妥当な混合研究デザインが選択され、量的データ収集と質的データ収集の方法がいずれも適切か。

「2点」：すべて適切である。

「1点」：一部分だけにとどまる。

「0点」：全くできていない。

4. 分析方法は科学的か？

（量的研究）統計解析方法は明確にされており、適切に行われているか。

（質的研究）データの解釈プロセスが追跡可能であり、分析が適切に行われているか。

（混合研究）上記の量的データ分析と質的データ分析の方法が適切に行われ、かつ両者の統合が適切に行われているか。

「2点」：方法が適切である。

「1点」：「2点」と「0点」以外の場合。

「0点」：方法に問題あり、もしくは説明がない。

5. 研究結果と結論に乖離はないか？

結論は、研究で得られた結果から大きく乖離していないか。

「2点」：研究結果から導き出された妥当な結論である。

「1点」：「2点」と「0点」以外の場合。

「0点」：研究結果と結論に大きな乖離がある、もしくは結論の記載がない。

以上